

サタデータイム始動

本日、平成30年度の目玉企画として導入したサタデータイムの2回目が実施されました。サタデータイムとは、土曜登校日（各月の奇数週）の1・2限授業実施後、70分間を使って実施する特設講座のことです。3つの学科（特進科・普通科・経営情報科）それぞれが科全体で取り組む「躍進プログラム」と、生徒自らが自分の選択したテーマ・目標に向けて取り組む「選択プログラム」で構成されます。

「躍進プログラム」では、それぞれの学科の特性や生徒たちのニーズに応じた進路設計に係る講座やセミナーを設定し、学ぶ意欲や学び方の醸成を目指します。また、「選択プログラム」では、27の講座を設定し、生徒が自分の関心や進路志望に応じて1つを選択し、自己の知識・技能の習得やスキルアップを図ります。

例えば、普通科グローバルコースを対象に「地球課題を考えるプロジェクト」講座、普通科幼児保育コースを対象に「絵本作り・読み聞かせ」講座、経営情報科2・3年を対象に「商品開発Ⅰ・Ⅱ」講座を開設し、課題解決型学習に取り組み、「課題発見→課題解決のための学びや活動→課題解決→発表・報告」の対話的で深い学びのプロセスを通して、主体性や協同的態度を育成することを目指します。

また、普通科スポーツ科学コースでは、「宮崎学園・昭和町スポーツクラブ」を開設し、宮崎市ハンドボールスポーツ少年団の子どもたちを対象に、「スポーツ概論」「スポーツ実技」等の学びを生かした交流や指導を通して、スポーツ技能の更なる向上と合わせ、異年齢集団とのコミュニケーション能力の育成も目指します。

一部の例を示しましたが、このサタデータイムの取組を通して、生徒たちが、主体的に学ぶことの意味や大切さを体感し、通常の学習に向かう姿勢や態度がさらに向上し、自らの力で自らの目標を達成する意欲とその力を伸ばしてくれることを期待しています。

生徒たちの生き生きと活動する様子は、7月末に予定している本校のオープンスクールでも紹介しますし、年間6回予定しているサタデーみやがく見学会にお越しいただき、直接ご覧いただきたいと思えます。

2018年5月19日

校長 佐藤 公洋

